



平成29年6月2日
第417号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

「きずな」がかがやいた創立30周年記念大運動会！

校長 高橋 祐二

5月27日（土）、晴天での創立30周年記念大運動会の実施を願ったのですが、願いも虚しく降雨となりました。そのため、翌日に順延することを余技なくされました。

そして、28日（日）。空は曇っているものの、グラウンドの水は引き、最高の状態で実施できると安堵しました。ところが、子どもたちがグラウンドに出ようとする間近、急に黒い雲がたちこめ、無情の雨。一瞬のうちに、グラウンドが再び、水浸しとなってしまいました。

本日、実施できなければ、平日の実施を考えないといけない。しかし、子どもたちのモチベーション、保護者や地域の皆様のことを考えると、何としても、本日、実施したい。

そこで、職員に、「これから手の空く職員、そして、保護者、地域のみなさんの力を借りてグラウンドの整備をしよう。そして、1時間、遅らしての実施としよう。」と話をしました。きっと、保護者や地域の皆様の中には、「本当に今日できるのか？」と疑心暗鬼を持たれた方もいらっしゃると思います。

さて、これからはドラマの始まりでした。放送で、体育主任がグラウンド整備のお願いを呼びかけたところ、あっという間に大勢の保護者や地域の皆様が集まってくださり、グラウンド整備が始まりました。

「スポンジで水を吸い取ってくださったお母さん。」「新聞紙を家から持参し、水を吸い取ってくださったお父さん。」「一輪車で、砂を運んでくださった町内会長さん。」（あるお母さんは、私に代わり何回も一輪車で砂を運んでくださりました。頭が下がりました。）「砂をトンポでならしてくださったお父さん。」「スラックス姿と革靴姿で、砂運びをしたくれた旧職員。」

「何としても、子どもたちのために、運動会ができるようにしよう。」

そんな、保護者や地域の皆様、そして、職員の思いがひしひしと伝わってきました。そして、私にとってこの光景は、一生忘れることのできない思い出として残るものと思います。改めまして、28日（日）に実施できましたことに、保護者、地域の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年の運動会は、天候不順のため、残念ながら子ども、保護者、地域の皆様との対抗玉入れやPTA種目は実施できませんでしたが、聖火リレー、30周年パネル作成、バルーンセレモニーなどにご協力いただきました。そして、何よりも、実施に向けて協働でグラウンド整備を行い、運動会を実施させたことが、大きな大きな「きずな」「つながり」となりました。まさしく、「30周年きずなかがやく大運動会」のスローガンにふさわしい記念すべき運動会でした。

また、全校の子どもたちに、職員と保護者、地域の皆様が汗を流し、必死になってグラウンド整備をしている光景を見せたのは、何よりも代え難い「教育の場」となりました。

ある2年生の女の子が、担任に「先生、きずながかがやいているね。！」と呟いたそうです。きっと、子どもたちにとっても、この光景は、一生忘れることのできない光景になったことと思います。寒さの中、子どもたちも本気になって取り組んだ運動会でした。子ども同士の「きずな」も、一層深まり、みんなで力を合わせ取り組んでいく態度が育ちました。

運動会のフィナーレを飾る「バルーンセレモニー」・・・500個の風船が、子どもたちの思いを天に届けるかのごとく、一斉に空高く飛んでいきました。

いつまでもいつまでも、風船に手を振っている子どもたちの笑顔が忘れられません。

「東豊小学校、創立30周年記念大運動会・・・万歳、万歳、万歳！」